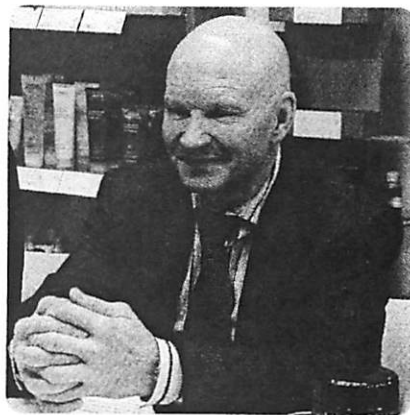


人体エネルギーの視覚化に成功 コンスタンチン・コロトコフ氏インタビュー

岡野寧子



去る3月、GDV (Gas Discharge Visualization = 気体放電視覚化技術)^(※1)に基づいた人体エネルギー測定機器の開発を行うコンスタンチン・コロトコフ氏が来日した。

サンクトペテルブルグ国立情報技術・機械工学・光学研究所のコンピューター科学と生物物理学の教授であり、同国立体育学研究所副所長、米国アヴェダ社のコンサルタントを勤める氏は、若き日からキルリアン効果の研究に没頭する。「不思議で美しい写真」にすぎなかったキルリアン効果^(※2)に最新の光学技術を取り入れることで、生体の潜在エネルギーと環境への適応性を視覚化、数値化することに成功。17の特許を取得した。

GDVはロシア政府から医療機器として認定されている他、ヨーロッパ、インドでも認証を得て、現在1,000人以上の医師やセラピスト、研究者が現場で活用している。科学の様々な分野からアプローチが試みられ、世界各国で発表された論文は200本以上。

測定は短時間でなされ(測定前の安静を含めて30分弱)、非侵襲(測定時に身体を傷つけることがないので測定被験者への負担が少なく、何度も測定することが可能)、低コスト。科学的根拠に基づいた再現性のあるデータを得ることが出来るという。

詳しいお話を伺ってみた。

—キルリアン効果からGDVが生まれた経緯を教えてください。

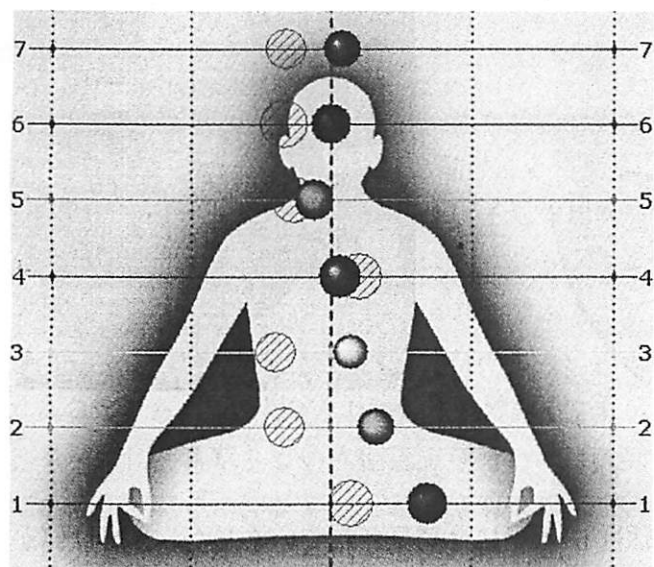
コロトコフ氏(以下敬称略): キルリアン効果自

体は18世紀には発見されていました。当時は何かスピリチュアルな発光、という漠然とした認識だったと思います。人間も光るけれどそれは聖人だけとか(笑)、あまり科学的な探求はなされていなかったのです。

しかし私の時代にはすべての生体は光子を発していると分かってきました。ならばキルリアン効果の放電技術を応用し、高周波電場内で生体表面域に微弱にある電子や光子の移動を誘発(増幅)させればどんな生体のエネルギー(電子や光子)も視覚化出来る。そう考えて開発したのがGDVです。機器の開発に本格的に着手したのはソビエト連邦崩壊後ですが、理論はそれ以前からほぼ整っていました。

電子や光子は人間の健康、心理状態を反映しますから、得られた映像を見ることで、医療や美容面で有益な情報を得ることが出来ます。95年に開発が成功していますが、以降多くの先進的な医療機関やセラピーの場面で使用され続けています。

実際の例として…アヴェダ社ではこのGDVを使って開発した、各チャクラ^(※3)に対応したアロマミストを販売しています。GDVで人体エネルギーを精査し不活性なチャクラを特定しておけば、その人はそのチャクラに対応するミストを使用することで心身のバランスを整えることが出来ます。セラピストも特にどこに注意を払えばいいか一目瞭然ですし、カウンセリングの参考にもなるでしょう。無駄のない施術が可能となります。—生体エネルギーを測定する際、チャクラに注目



チャクラの図。当初活性化しているチャクラは薄い円の場所にあったが、第二チャクラ用のブレンド精油を嗅いだ後、濃い円の場所へ移動している。

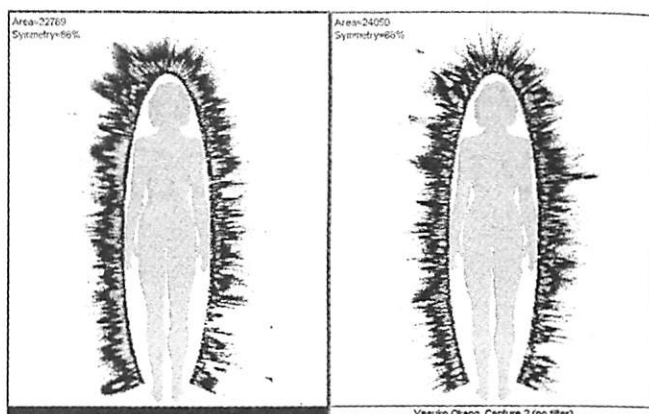
したのは何故ですか。

コロトコフ：98年にインドの代替医療の会議に出席しました。そこで現地のアーユルヴェーダ医師達から、是非チャクラの測定をするように勧められたのです。すぐにプロジェクトを立ち上げ研究したところ、チャクラが人体エネルギーの大きなポイントに違いないと分かりました。

GDVでは全身の状態をくまなく視覚化出来ますが、チャクラにはそれぞれ性質がありますから、一つ一つの状態を知ることにより明快な情報が得られるというメリットがあります。

例えば第一チャクラが身体のセンターラインからかなりずれているとしたら、ここは土台となるチャクラですから心身の安定を欠き、仕事などにフォーカスする力が湧いてこない可能性があります。ヨガや瞑想を勧めてあげてもいいですし、オリバナムやパチュリというどっしりしていて不安を鎮めるアロマを使うのもいい…ということが瞬時に分かるのです。

第二チャクラの活性にはサンダルウッドやオレンジ、ゼラニウム。第三チャクラにはラベンダー、レモン、バルサムモミ。第四チャクラはサンダルウッド、パルマローザ、マンダリン。第五チャクラはグレープフルーツ、イランイラン、ローズマリー。第六チャクラはゼラニウム、オレンジ、プ



エネルギーフィールドの図。精油を嗅ぐ前(左)と後(右)。後の方が活性化しているが、どちらも怪我をした足の部分だけエネルギーが極端に少なくなっている。

チグレン。第七チャクラはエレミ、オリバナム、アンジェリカルート。アヴェエダではこれらを中心にしたアロマブレンドを使っています。

ちなみにGDVは人体だけでなくすべての生体のエネルギーを測定できます。ですから植物や動物も、その潜在的なパワーを数値化できるのです。つまりこれまで判断が曖昧になりがちだったオーガニック製品の価値判断も明快に行えます。合成された精油とオーガニックのものでは数値がまったく異なるからです。もちろん治療に使うにはポテンシャルの高い精油を使うに越したことはありませんね。

—GDVはこれからどのような分野で使われていくのでしょうか。

コロトコフ：今後ますます多くの国で利用されるでしょう。日本でも普及することを願っています。

このデータは専門知識のある人が読み取れば、臓器の診断にも使えるものです。現在の状態、そしてそうなるに至った原因を推測できます。ガンなどの病気の状態をリアルタイムで測定し、患者に最適な治療法を提示することも可能です。

医学、心理学、生物物理学、遺伝子工学、生態学、芸術療法など多方面の応用も始まったばかりで、その成果が楽しみなことです。



記者もGDVを体験させて頂いたが、機器に十指を順々に置いていくだけという簡便さには驚かされた。数日前に転び、左足を怪我したこともしっ



被験者は次々に指を乗せるだけで、全身のエネルギー状態が計測できる。

かりと画像に現れている。常に科学的手法と生命に対する畏敬の念を組み合わせるといふ博士の研究に、これからも注目していきたい。

- ※1 GDVについてのお問い合わせ先
黎明株式会社
京都市中京区壬生西櫓町17
Tel.075-321-3620 E-mail: gdv@reimei.tv
<http://www.gdv.jp/>
- ※2 1930年代、ロシアの研究者キルリアン夫妻が発見したことで有名になった、高周波電磁場により生物の周囲に生じる発光現象。
- ※3 チャクラ サンスクリット語で車輪を意味し、不可視の人体のエネルギーポイント。その数は無数にあるとも言われるが、代表的なものは尾てい骨付近から頭頂までの7つと言われている。



プロフィール
Yasuko Okano
岡野寧子

ライター。パッチ国際教育プログラムレベル2修了。JAMHA 認定ハーバルセラピスト、日本ホリスティック医学協会認定生活習慣病予防士。

新製品紹介

コンファイアンス 「オーストラリアンオーガニクス」

(株)コンファイアンスは、3月1日より、オーストラリア発“地球環境や動植物にやさしい”をコンセプトに、ボタニカル成分のみを使用したヘア&ボディケア製品ブランド「オーストラリアンオーガニクス」から3タイプのシャンプーとコンディショナーを中心に発売を開始した。配合されているヨーロッパシラカバエキス、カミツレエキス、フユボダイジュエキスの3成分は、EUオーガニック食品認証統一基準をもクリアしている。安全性が高く環境にやさしい成分へのこだわり、サロンのように満足いく仕上がり、購入しやすい価格を目指して製品化され、現在はアメリカ、カナダ、イギリス、フランスのスーパーマーケットを始め、モルディブの5つ星ホテルのアメニティとして使用されるほど、その実力が認められている。オーガニック認定成分、植物由来のプロテイン、エッセンシャルオイルなど自然の持つ本来の力を最大限に引き出す配合で開発された製品となっている。

- ◆シャンプー/コンディショナー (ノーマル、ダメージ、ボリュームアップの3タイプ) 各250ml / 1,470円
- ◆ハンドアンドネイルクリーム 200ml / 1,785円
- ◆ボディローション 200ml / 1,785円
- ◆シャワーアンドバスジェル 250ml / 1,470円
- ◆プラントソープ<全4種類> 各100g / 861円 (すべて税込 オーストラリア製)



(株)コンファイアンス
Tel.03-6457-7739

<http://www.australianorganics.jp>

NEW GOODS